

2020年8月28日

原料費調整制度に基づく2020年10月検針分のガス料金について

(東京地区等)

東京ガス株式会社
広報部

東京ガス株式会社は、「原料費調整制度」に基づき、2020年10月検針分の単位料金を、2020年9月検針分と比べ、1m³ (45MJ)につき3.74円(消費税込)下方に調整いたします。

今回の調整は、2020年5月～2020年7月の平均原料価格に基づくものです。

これにより、1ヵ月に30m³のガスをお使いになる標準家庭で2020年9月検針分と比較して、112円(消費税込)ガス料金が下がります。

2020年10月検針分に適用するガス料金については、当社ホームページ等であらかじめお知らせいたします。

1. 一般契約料金

各月のご使用量に応じてA～Fの各料金が適用されます。

| (消費税込) | | | | | | |
|-------------------------------|----------------------------|-----------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|
| 1ヵ月のご使用量 | 料金表A 0～20m ³ | 料金表B 21～80m ³ | 料金表C 81～200m ³ | 料金表D 201～500m ³ | 料金表E 501～800m ³ | 料金表F 801m ³ ～ |
| 基本料金 (円/月) | 759.00 | 1,056.00 | 1,232.00 | 1,892.00 | 6,292.00 | 12,452.00 |
| 調整単位料金 (円/m ³) | 135.06 | 120.21 | 118.01 | 114.71 | 105.91 | 98.21 |
| (参考) 9月 調整単位料金 | 138.80 | 123.95 | 121.75 | 118.45 | 109.65 | 101.95 |

2. 標準家庭における影響

| (消費税込) | | | |
|---|----------|-----------|-------|
| 1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | 2020年 9月 | 2020年 10月 | 増減 |
| 適用料金(円/月) | 4,774 | 4,662 | ▲ 112 |

- 標準家庭ガス料金は、ご家庭1件の1ヵ月あたりの平均使用量(2012年度～2016年度の5ヵ年平均)に基づき算定しています。
- 口座振替割引をご契約している場合の標準家庭ガス料金は、上記適用料金から55円(消費税込)を抜いた金額となります。

3. 原料価格の変動

(円/t)

| | 2020年4月～2020年6月の平均 (9月検針分) | 2020年5月～2020年7月の平均 (10月検針分) | 対前期 差額 |
|-------------|-------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 平均原料価格(a) | 49,910 | 45,670 | ▲ 4,240 |
| LNG | 50,520 | 46,050 | ▲ 4,470 |
| LPG | 37,020 | 36,970 | ▲ 50 |
| 基準平均原料価格(b) | 57,250 | | |
| 差額(a-b) | ▲ 7,300 | ▲ 11,500 | ▲ 4,200 |

- ・ LNG価格、LPG価格はともに貿易統計値。
- ・ 平均原料価格と基準平均原料価格との差額(a-b)は100円未満切捨て。

4. 単位料金調整額の算定方法

<原料価格の変動による単位料金調整額の算定>

■ 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned} & \text{LNG平均原料価格(貿易統計値)} && 46,050 && \times 0.9479 \\ & + \text{LPG平均原料価格(貿易統計値)} && 36,970 && \times 0.0546 \end{aligned}$$

45,669.35

↓(10円未満四捨五入)

45,670 円/t

■ 原料価格変動額の算定

$$45,670 \text{ 円/t} - 57,250 \text{ 円/t} = \text{▲ } 11,580 \text{ 円/t}$$

↓(100円未満切捨て)

▲ 11,500 円/t

■ 単位料金調整額(m³あたり調整額)の算定

$$\text{単位料金調整額} = \text{▲ } 11,500 \text{ 円} / 100 \text{円} \times 0.0891^{*1}$$

$$= \text{▲ } 10.25 \text{ 円}^{*2}$$

*1 変動額100円につき単位料金を0.0891(0.081×1.1)円調整します。

*2 調整額がプラスの時は少数点第3位以下を切り捨て、マイナスの時は少数点第3位以下を切り上げます。

<標準家庭における影響>

(消費税込)

| 1ヵ月のご使用量 30m ³ (45MJ/m ³) | 2020年 9月 | 2020年 10月 | 増減 |
|---|----------|-----------|-------|
| 適用料金(円/月) | 4,774 | 4,662 | ▲ 112 |

・ 標準家庭料金の計算方法

東京地区等

本体料金(税込) = 基本料金(1,056.00円)

$$+ \text{調整単位料金}(130.46 \text{円} + \text{▲ } 10.25 \text{円}) \times 30 \text{m}^3$$

料金改定時の基準単位料金(税込) ↑ ↑ 単位料金調整額(税込)

・ 本体料金は小数点以下切捨て

[参考]

原料費調整制度の概要

- ・ 為替レートや原油価格の変動等による原料価格の変動に応じて、毎月ガス料金の単位料金（ガス1m³あたりの単価）を調整する制度です。
- ・ 「基準平均原料価格（57,250円/t）」と「平均原料価格（料金適用月の5ヵ月前から3ヵ月前の3ヵ月平均におけるLNG、LPGの輸入価格より算定）」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、ガス1m³あたり0.0891円（0.081円に1.1（消費税）を乗じた値）単位料金を調整いたします。
- ・ 原料価格の変動については、LNG、LPGとも貿易統計値によります。
- ・ 料金の大幅な上昇を避けるため、「平均原料価格」が91,600円（上限値）を超えた場合には、「平均原料価格」は91,600円としてガス料金の調整を行います。